

琉球大学学術リポジトリ

知っておきたい着物の知識

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学農家政学部 公開日: 2011-07-22 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 渡口, 文子, Toguchi. Fumiko メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/21250

知っておきたい着物の知識

3) お茶席

家元での初釜、口切りなど特に改まったお茶会
は三つ紋か一つ紋付、訪問着でも紋のついてい
ないものはいけないことになっていますが、普通
のお茶会ならこま 綸子の色無地一つ紋付や訪問
着、小紋なら上品な柄がよいでしょう。初釜、ホ
テルなどの茶会などは多少はなやかなものを、忌
のお茶会はひかえめの無地調等でしょう。塩沢、
結城、大島などは高価でも、あくまで街着でお茶
会にはさけた方がよいのです。柄も縞、緋、格子
などは普段着っぽい感じですのでさけるのが常識
です。お召、紬は無地か無地調ならよいでしょ
う。5月中旬から6月は一越ちりめん、お召、紬
の単衣、7～9月上旬は 紹、紗などでどちらも
訪問着か無地、小紋などを、単衣ですとお召、紹
の無地で一つ紋がよいでしょう。お茶席での礼装
は紋のついたきものがよいのです。お茶のおけい
こをなさる方は訪問着始め小紋でも一つ紋をつけ
ておいた方がよいでしょう。紋はどちらでもよい
のです。小紋柄に紋をつけますと訪問着と同格に
着ることが出来ます。

Ⅵ 小物について

礼装用の小もの

a) 半 衿

羽二重、塩瀬で地紋のないものを使います。お
年にかかわりなく白ですが礼装の場合は特に白さ
に気をつけていただきたいものです。

b) 帯 メ

留袖には白の丸ぐけ紐に金銀の箔や刺しゅう入

りのものが用いられますが、近ごろは金、銀又は
白地に金、銀入りの打ひもを用いる人が多くなっ
ております。おめでたい感じの色合いのものがよ
いでしょう。又きものと帯にかなりの重量感があ
りますので軽い感じの帯メで全体の雰囲気をごわ
してしまうことがない様に注意しましょう。

c) 帯 揚 げ

留袖用の帯揚げは正式には白が使われています。
上等のものでは総しぼりがあり普通には紋綸子の
ものです。同じ礼装でも格式ばった所の外にはお
年に応じて目立たない淡い色のものを自由にお使
いになってよいでしょう。

d) ハンドバック

正装には佐賀錦、綴れ織り、ビーズなどの小型
で格調のあるものがよく、余分のものは入れずに
その他のものは風呂敷などへまとめます。略装で
は小型で皮製のかかえ型を用意します。

e) 草 履

留袖には金銀をあしらったもので比較的かがと
の高いものが用いられます。礼装のみに用いられ
るのに布製のありますが特にあらたまらなけれ
ばならない場合以外はエナメル、パールの無地も
のがよいでしょう。

着用時用途 図表 I

正装用	礼服 結婚式の参列 正式のパーティー
晴れ着	略礼装 卒業式 成人式 各種の会合
外出着	軽いパーティー 観劇 クラス会
街 着	ショッピング デート

(渡 口 文 子)